文理融合型共同研究公募について

香川大学内または香川大学内外における文理融合分野の共同研究

強靱化社会推進課題

1.　はじめに

わが国では地震津波災害、火山災害ならびに気候変動に起因した多くの風水災害が発生しています。これらが複合災害として発生することが危惧されており、その被害軽減並びに強靱化社会の構築等に向けた取り組みが喫緊の課題と言えます。こうした課題を解決するための総合科学として減災科学があります。

この減災科学を推進する上では、理学、工学、医学といった理系分野だけでなく、人文科学、社会科学といった文系分野との連携は必要不可欠です。また、災害は局地的に生じる場合と広域に生じる場合が有り、とりわけ後者の場合、災害の地域性等も考慮する必要があります。

今般、異なる専門性を結びつけることによって生じる可能性と、災害の規模に応じた的確な復旧や復興方法を探求するため、文理の両分野が融合し、必要に応じて他機関と連携して減災科学を推進する共同研究を募集します。

　２．内容

本共同研究では、地域の地勢、文化、歴史、経済を考慮に入れた強靭化社会を構築するための提案ならびにグランドデザインを想定しています。したがって、香川大学内における異分野の共同研究はもとより、「香川大学（理・工・医学分野）－他大学（人文・社会科学分野）」あるいは「香川大学（人文・社会科学分野）－他大学（理・工・医学分野）」というような機関を超えた学際的共同研究等を募集します。

具体的には、以下のような分野における提案を依頼します。

①甚大災害関連研究（南海トラフ地震などの国難災害）

②複合災害関連研究（地震津波、風水害、パンデミックなど災禍で 想定される複合災害）

③情報利活用・人材育成関連研究（強靭化社会の構築において不可欠な情報利活用と人材育成）

　　３．提案概要

　　・期間：採択決定日から2021年3月31日まで

・資料：提案書（分野、研究名称、内容、研究計画、研究者業績、予想される成果）

・採択案件／研究予算：最大3件／予算総額300万円

（申請額は100万円を超えても良いが、採択件数等により調整することがあります。）

　　　　　　　　※研究予算（出張旅費、物品購入等）については香川大学にて予算管理を行います。

　　・申請日程：公募開始：5月20日（水）

締め切り：7月2日（木）　午後5時　必着

※新型コロナウイルスの影響を考慮し、公募期限を変更（募集期間延長）しました。

結果公表：7月初旬

送付先　〒760-8521　香川県高松市幸町1番1号

香川大学 学術部 研究協力グループ

四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構事務担当　海老野　薫

e-mail: soumke2@jim.ao.kagawa-u.ac.jp　TEL:(087)832-1313

※申請書類を郵送にて提出される場合は、表に【文理融合型共同研究希望】と朱書きしてください。

　また、E-MAILで送信される場合は、件名に【文理融合型共同研究希望】とつけてください。

様式１

2020年度　文理融合型共同研究公募　提案書

|  |  |
| --- | --- |
| 共同研究分 野 名 | ① 甚大災害関連研究② 複合災害関連研究③ 情報利活用・人材育成関連研究※該当する研究分野に〇印を付けて下さい。 |
| 研究代表者 | 大学名・所属 | 職名 | 氏名 | 研究者番号※ |
|  |  |  |  |
| 内線 | Ｅ-mail |
|  |  |
| 香川大学分 担 者（足りない場合は行を追加） | 所属 | 職名 | 氏名 | 研究者番号※ |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 学外分担者（足りない場合は行を追加） | 大学名・所属 | 職名 | 氏名 | 研究者番号※ |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

※e-Radに登録されている番号（研究者番号）がない場合は、記入の必要なし

以下、研究代表者について記入すること　　※研究代表者は学外研究者も可能とする。

|  |  |
| --- | --- |
| 主な研究活動業績 | 1. 著書＜単著/共著/単訳/共訳＞
2. 論文＜単著/共著/症例報告等＞
3. 研究発表＜招待講演/一般講演/ポスター/パネリスト/その他＞
 |
| その他 | （受賞歴が有れば記入）（学外の審議会、委員会等の実績が有れば記入） |

**１．研究名、研究目的、研究方法など**

本欄には、研究名、本研究、目的と方法などについて、２頁以内で記述すること。

冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述し、本文には、既存の学問・研究分野にとらわれずに、異なる分野の知見や方法論を取り入れた研究について（１）研究課題の核心をなす学術的「問い」、（２）本研究の目的、（３）本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、について具体的かつ明確に記述すること。研究代表者と香川大学分担者の具体的な役割、学外分担者の役割を明記すること。

（研究名）

（概　要）

（本文）

**２．応募者の研究遂行能力**

本欄には応募者（研究代表者、香川大学分担者、学外分担者）の研究計画の実行可能性を示すため、これまでの研究活動について１頁以内で記述すること。研究活動を中断していた期間がある場合にはその説明などを含めてもよい。

**３．研究経費とその必要性**

|  |  |
| --- | --- |
| 物品費（備品・消耗品）（千円） | 旅費・謝金・その他（千円） |
| 品名 | 金額 | 事項 | 金額 |
| 　　　　　小計 |  | 　　　　　小計 |  |
| 合計 |  | 合計 |  |
|  |  | 総額 | 千円 |
|  |
| 物品費・旅費等の必要性 |
|  |